

TOTO

玄関手すり

YHB3型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

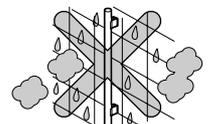
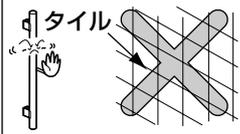
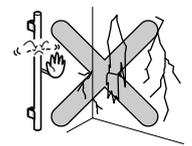
安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意		
 禁止	屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には設置しない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで商品および手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	コンクリート下地の壁や、壁仕上げ面がタイルの壁には取り付けない コンクリート壁や、壁仕上げ面がタイルの壁に取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
 分解禁止	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障の原因になります。	
 必ず実行	必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は、厚み12mm以上の合板または、同等以上の下地材に取り付けるか、間柱に固定するか、別売の後付け補強板を設ける 土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	必ず同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用する 同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

2

取り付け前に

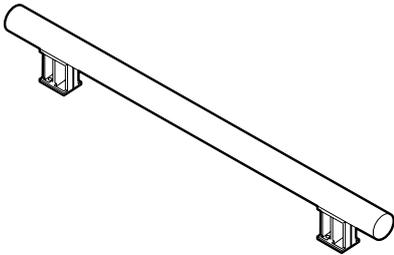
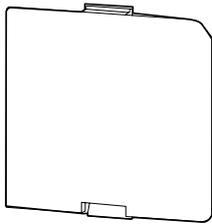
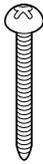
取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に**十分な強度がある**ことを確認してください。
- 間柱に固定する場合は、壁裏センサーやプッシュ式針などを使用して間柱の位置を確認し、確実に手すりを間柱に固定するようにしてください。また、間柱が腐っていないことも確認してください。
- 屋外や浴室などの水がかかったり湿気が多い場所、水没する場所には取り付けない**でください。変色や変形のおそれがあります。
- コンクリート下地や、壁仕上げ面がタイルの場合には取り付けできません。

3

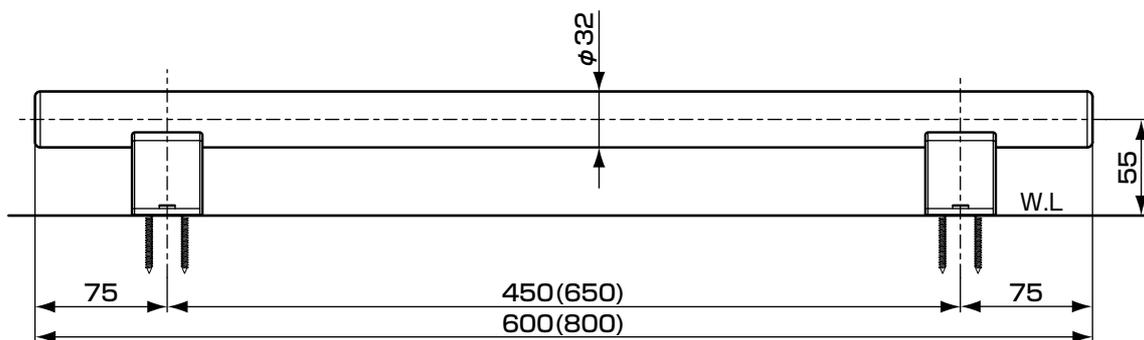
付属部品の確認

次の部品があることを確認してください。

部品	手すり部	カバー	壁固定ねじ
図			
数量	1個	4個	4本 なベタッピンねじφ4×40

4

完成図



() 内はYHB3AF8

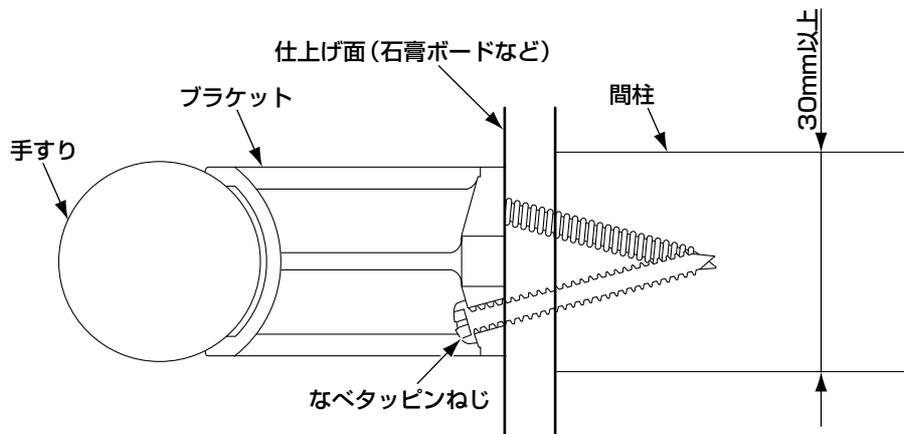
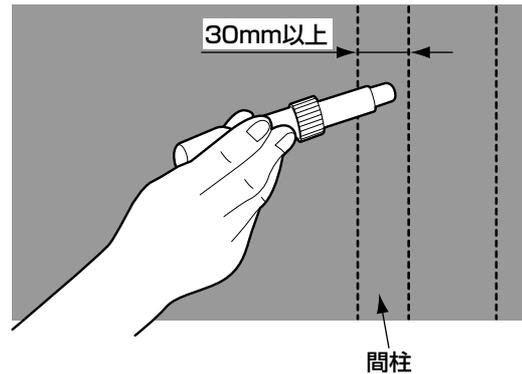
間柱に固定する場合

石膏ボード壁などの強度がない壁に手すりを固定する場合は、間柱に固定します。

注意

幅30mm以上で、腐っていない間柱に固定してください。また、1つのブラケットに対して壁固定ねじが必ず2本間柱に固定できる位置に手すりを固定してください。間柱の幅が狭かったり、間柱が腐っていると、壁固定ねじが間柱に2本固定できず、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

- ① 壁裏センサーやプッシュ式針などを使用して、間柱の位置を確認する。
- ② 手すりを壁に仮固定し、ブラケットのねじ穴に沿ってφ3mmの壁固定ねじ用の下穴をあける。
注1・2・3
- ③ 壁固定ねじをブラケットの取付穴より取り付ける。



注意

- 注1：φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。
- 注2：下穴をあける際に、ブラケットや手すりを傷つけないように注意してください。
- 注3：なべタッピンねじを強く締めすぎて合板・補強木などを破壊しないように注意してください。

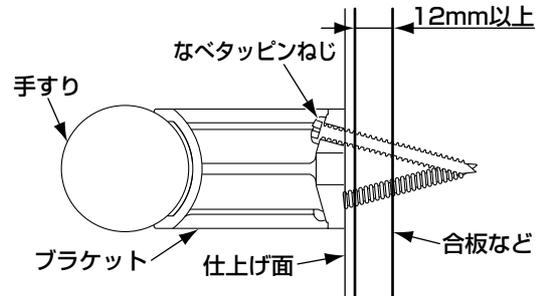
5-2

壁面に固定する場合

注意

厚み12mm以上の合板、または同等以上の下地材に必ず取り付けてください。壁自体に強度がないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

- ①壁裏センサーやプッシュ式針などを使用して、間柱の位置を確認する。
- ②手すりを壁に仮固定し、ブラケットのねじ穴に沿ってφ3mmの壁固定ねじ用の下穴をあける。
注1・2・3
- ③壁固定ねじをブラケットの取付穴より取り付ける。



注意

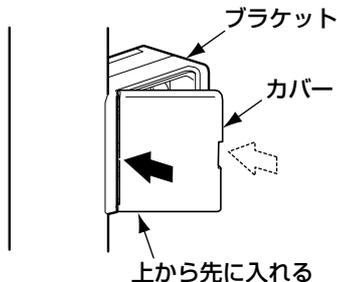
注1：φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：下穴をあける際に、ブラケットや手すりを傷つけないように注意してください。

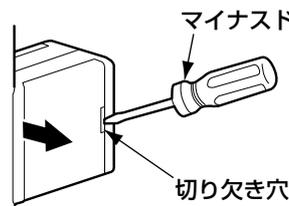
注3：なベタツピンねじを強く締めすぎて合板・補強木などを破壊しないように注意してください。

5-3

- ①ブラケットにカバーをつける。



- ②ブラケットのカバーを外す場合は、切り欠き穴にマイナスドライバーを差し込み引き抜く。



注意

ドライバーでブラケットを傷つけないように注意してください。

6

点検項目

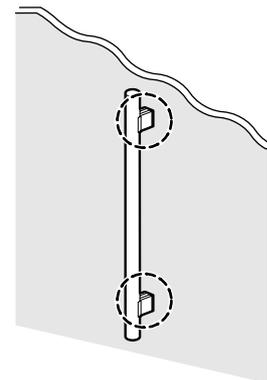
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

手すりは壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ ⑤「手すりの取り付け」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。